

観光立国を支える広域交通ネットワークの確保

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

観光立国として、日本特有の文化、自然等の魅力的な観光メニューを提供し、多くの外国人に日本を訪れていただくためには、誘客効果が見込まれる文化、自然が残る地方と国際空港等を結ぶ航空路線や鉄道の維持・充実、あるいはその整備が不可欠であると考えますことから、以下の内容について、提言をいたします。

【政策提言の具体的内容】

- ① 地方の航空路線に対する支援策の強化を提言いたします。
 - ・ 地方空港における着陸料の軽減拡大等の措置
- ② J R 四国に対する支援策の強化を提言いたします。
 - ・ 経営安定基金の積み増し等による経営の安定化措置

【政策提言の理由】

- ① 羽田空港等の国際空港を発着する地方航空路線は、近年、利用者の減少に伴い、路線維持が大きな課題となっています。国内の観光、ビジネス等での需要だけでなく世界に観光立国としてアピールしていくためには、二次交通としての地方航空路線の維持が不可欠であり、地方の航空路線に対する支援策の強化が必要だと考えます。
- ② 外国人観光客が、新幹線や地方空港から四国に入り、四国地方の観光地を巡るためには、幹線的交通機関である J R 四国の路線、便数の確保が求められますが、利用者の減少に加え、高速道路料金の割引や新型インフルエンザ等、予期せぬ事態で、事業者としての経営努力だけでは、現在でも十分とは言えない路線網や便数の維持が厳しい状況に陥っており、J R 四国に対する抜本的な支援策が必要だと考えます。